

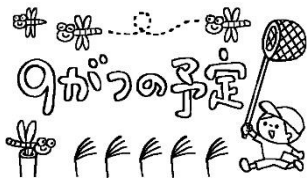
R6年 9月

市野谷つばさ保育園

こんがりとやけた子どもたちの顔に、このひと夏の成長を感じているこの頃。季節はだんだんと秋に近づいてきました。

暑さの中でもたくさん身体を動かしたり水遊びや感触遊びを通して「どうしてだろう?」「あっそうだったのか!」の経験を重ねながらさまざまなことを吸収しています。

まだまだ残暑も厳しい日が続きますが、体調には気をつけながら秋ならではの体験ができるよう子どもたちと過ごしていきたいと思います。



2日(月) 乳児身体測定
3日(火) 巡回相談(10:00~)
5日(木) 幼児身体測定
6日(金) お誕生会

27日(金) 運動会予行練習

※避難・消火訓練は日にちを決めずに行います。

★幼児 10時20分～、乳児 10時40分～
開始します。

お知らせ

○お休みをいただいていた園長松江大貴は、この度一身上の都合により 8月末をもって退職となりました。園長は当面の間、理事長会田勝一が兼任させていただきます。

○9月10日～12日の3日間、吉川つばさ保育園との職員交換研修としてそれぞれクラスに入りますので、ご了承ください。

～子育て支援より～

今回のテーマは、きょうだいがいる家庭のお悩みについてです。

「けんかばかりするんです・・・」「すぐ手がでてしまい困ってます・・・」そんな声が保育園でもたくさんあります。ケンカから学ぶことがある、とはわかっているけど、家の中でそれが日常茶飯事になると、ついイラっとしてしまいますよね。そんな時の配慮のポイントやかかわり方についてご紹介できたらと思います!

① 相手に向かって出てしまっている手や足を(叩いたり蹴ったりする前に)そっと止める。

② 低い声かつ丁寧語で短く、求める状況を伝える

→子どもたちが興奮している状態だと、大人も張り合って大きな声や高いトーンで注意してもあまり耳に入りません。例)「もう終わりです。」

上の子は産まれたときから親の愛情を一身に受けているので、愛情を必要とする器が大きいのです。どうしても上の子を叱りがちになりますが、意識的に上の子をケアもしてあげましょう。

下の子にはケンカの際に、今何が起きていて、どういう気持ちなのか、相手にどうしてほしいと思っているのか、を言葉で伝えられるように促しましょう。年齢的にまだ難しい場合は大人が気持ちを代弁したりしながら、少しずつ言葉で伝える練習をしていきましょう!

どのような感情や状況がケンカを引き起こしているのか、という風に少し引いてみるとパパママの気持ち落ち着き、気づきもあるかもしれません。ケンカをしながら、仲直りの仕方を学び、遅く育っていくことにぜひ寄り添っていききたいですね☆



小学生ボランティアの挑戦！

夏休みに試験的に小学生ボランティアを受け入れる取り組みをしました。

なぜ小学生のボランティアを受け入れようということになったかという、普段保育園の中で異年齢児保育としてクラスの垣根を越えて関わり合える環境を作っていますが、0歳児～6歳までの子どもたち同士の関わりだけでなく、さらに大きい子どもたちとの関わりも持てないか、と考えました。小学生が参加できるのは長期休みなので、まずは職員の子どものみで保育園のお手伝いをしたいという4名に参加してもらいました。

始めのうちは小学生も緊張している様子も見られましたが、そこはお兄さんお姉さんに興味津々な園児が近づいていき、一緒に遊ぶことであつという間に打ち解けていて、さすが子ども同士！と感心しました。ここまで打ち解ければあとは子ども同士の世界。「一緒に座ろう！」「これ手伝ってー！」とちょっと甘えてみたり、一緒に遊んだり…楽しいひとときが過ごせたようです。

今回法人内卒園児の参加もありました。普段の生活の中で子どもたちがこの見守り保育でどのようなことを習得してきたのか、というのはなかなか見えにくくもありますが、実際集団生活の中に入ってみると保育者と同じような言葉かけで喧嘩の仲裁をしたり、きっと在園中にやってもらっていたのだろう対応と同じように声掛けしている姿を見ることができました。これらのことはそれぞれの年齢における対応や声掛けの大切さ、また異年齢児の関わり合いの大切さなど、私たち保育者も改めて感じる事ができる良い機会となりました。

普段行っているお手伝い活動を通して、小さい子を助けたり手伝う、やってあげることで感謝される経験を、自己重要感などに繋がっていきます。また手伝ってもらった子どもも、経験から自分が大きくなった時に今度は自分が手伝ってあげよう、という気持ちを持つことができるため、このような経験をすることはとても大切だと考えています。ボランティアに参加してくれる小学生にとっても、お手伝いしてもらった園児にとってもとても貴重な時間になってくれることでしょう。

今後はもう少し幅を広げて小学生の受け入れを検討していく予定です。保育の仕事に興味のあるお子さんの体験の場となるよう、準備を進めていきますので興味のある方は是非参加してみてください！

保育目標

- すみれ ・身近な人に親しみの気持ちをもって関わろうとする。
 - ・身の回りのものに興味を持ち、全身を使って活動を楽しむ。
- つくし ・保育者と簡単な会話や言葉のやりとりを楽しむ。
 - ・簡単な身の回りの始末を保育者と一緒にやろうとする。
- たんぼぼ ・ごっこ遊びの中で、友だちと言葉のやりとりを楽しむ。
 - ・さまざまな食材や料理に興味を持ち、意欲的に食べる。
- ゆり ・さまざまな身体の動きに興味を持ち、友だちと一緒に運動遊びを楽しむ。
 - ・自然に触れ、夏から秋への季節の移り変わりを肌で感じる。
- ばら ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の気持ちを考えながら関わりを深める。
 - ・一つの事を最後までやり遂げ、自分や友だちの得意なことに気が付く。
- ひまわり ・意見を主張したり受け入れたりしながら、友だちと遊びを楽しむ。
 - ・活動には粘り強く取り組み、達成感を味わう。

